

令和6年度上大久保中学校だより

上中だより

第3号

令和6年5月31日(金)発行

学校教育目標

「温かい学校 感動あふれる学校」

さいたま市立上大久保中学校

〒338-0824 さいたま市桜区上大久保861-1 TEL.855-3901

<http://kamiokubo-j@saitama-city.ed.jp>

「仲間とともに!!」 校長 ^{たかく}高久 ^{まさゆき}正行

6月1日(土)から6月7日(金)までの日程で、「さいたま市中学校総合体育大会」が開催されます。(テニス、陸上競技、水泳競技は別日程での実施)この大会は、全国大会につながる一年で一番大きな大会であると同時に、運動部に所属している3年生にとっては最後の大会にもなります。5月28日(火)の朝礼では、生徒会主催の壮行会が行われ、各部の部長から力強い決意表明がありました。生徒会長の激励の言葉に続き、生徒会本部役員並びに文化部の代表生徒による「エール」も送られるなど、とても気持ちの温まる思いの詰まった壮行会となりました。

この壮行会の際の私からの話の中で、池井戸潤さんの「俺たちの箱根駅伝」という本を紹介しました。簡単にあらすじを紹介すると、箱根駅伝の本選に出場することができなかった大学から選ばれた選手で編成された「関東学生連合チーム」にスポットを当てた話となっています。この「関東学生連合チーム」は、箱根駅伝を走る権利を得ただけで、チームや選手の記録や順位も公式記録として残らないことになっており、その状況下で、選手は何のために走るのか等の選手一人ひとりの様々な葛藤や思いが語られています。読みながらレースのシーンを想像していると、いつの間にか涙している自分がおり、すっかり本の世界に引き込まれてしまいました。話の中で、「世の中には実を結ばない努力もあるだろう。だが、何も生まない努力なんかない。」という言葉がありましたが、「努力をしたことはいつか必ず自分に返ってくる!無駄な努力なんてない!」ということを改めて強く実感することができました。また、一本のたすきに思いを込める駅伝という競技を通して、チームメート(仲間)への思い等もふんだんに盛り込まれていました。壮行会でも生徒に話しましたが、「仲間を信じること」「仲間のために頑張ること」「支えてくれた仲間感謝すること」の素晴らしさを感じさせてくれました。大会に参加する生徒の皆さんには、仲間のために、自分自身の役割をしっかりと果たしてほしいと思います。



折しも、6月は、「いじめ撲滅強化月間」と定められ、学校独自のいじめ撲滅に向けた取組を実施することになっています。例年、啓発用ポスターを活用した学級スローガンづくりを行ってきましたが、今年は、生徒会から2つの提案がされました。一つは生徒会・各委員会による朝の挨拶運動、そしてもう一つが全校生徒による「ありがとうカード」の作成・掲示です。この「ありがとうカード」については、壮行会の後に説明が行われ、全校生徒がそれぞれ2枚、誰かに「ありがとう」を伝える場にし、『上中が、ありがとうが飛び交う学校にしましょう!』という呼び掛けがなされました。いじめという問題に目を向けた際、やはり大切なことは、身近にいるクラスメートや友達等普段から一緒に生活を共にしている人たちへの信頼の気持ちや感謝、そしてその人たちのことを考えて行動することなのだと思います。生徒一人ひとりが、上中を「よりよい学校」にする、「いじめをしない・許さない」「いじめに立ち向かう」という気持ちを常に持ちながら学校生活を送ることで、笑顔があふれる上中になることを期待するばかりです。

中学校総合体育大会が終わると、3年生は修学旅行があり、2年生は7月の未来くるワークに向けた取組が本格化します。仲間と話し合ったり、協力したりする場面も多くあるかと思っています。1年生も1学期を半分経過する中で多くの人たちと触れ合い、これからも多くの人たちと触れ合う機会があるはずで、今後も、ぜひ目の前にいる一人ひとりとの出会いや交流を大切にしてくれることを願うとともに、ご家庭でも折を見て、人との関わり方について触れていただけると幸いです。

熱中症予防のための「まちのクールオアシス」について

<さいたま市ホームページより>

さいたま市では、熱中症対策の一環として「まちのクールオアシス」を設置しています。暑さの厳しい夏の日中に外出した際に、暑さをしのぎ涼むことができる場所として、一定期間、公共施設を一時休息所として開放しています。外出時には気軽に立ち寄り、熱中症予防に役立ててください。

<桜区内の「まちのクールオアシス」>

大久保公民館、浦和西体育館、大久保東公民館、桜図書館大久保東分館、土合公民館、栄和公民館、桜区役所、桜図書館、プラザウエスト、田島公民館

※利用の際は、各施設の職員に、暑さをしのぐために一時的に滞在したい旨をお伝えください。